

親と子どもの発達センター



スマイル

りんく



第4号

発行：平成 27 年 6 月

発行者：岡崎女子大学 岡崎女子短期大学 親と子どもの発達センター

【TEL】 0564-28-3311

【E-mail】 oyako@okazaki.ac.jp <http://www.okazaki.ac.jp/lifelong/>

『愛してくれてありがとう♥ 叱ってくれてありがとう♥』

親と子どもの発達センター センター員 野田 美樹

先日、卒業生からメールが届きました。「先生、授業の時ごめんね。注意するの大変だったでしょう。でも、叱ってくれてありがとう・・・・」3月に短大を巣立っていった、ちょっと手のかかる可愛い教え子からでした。言葉を掛けることが多く「大事に思うから叱るんだよ！」と伝えながらも、その後には心が痛くなることもありました。4月から保育者としてクラス担任となり、子どもたちと楽しくも忙しく、そして必死に頑張り大声を出し、声がかかる毎日の様子も書かれていました。「可愛いけど、叱っちゃう」と悩む卒業生に「可愛いから、叱っちゃう」「あなたと私と同じだね」と返信しました。

子どもを叱ってばかりと悩む方が増えています。子どもを叱れないと悩む方も増えています。『叱ってくれてありがとう』が『愛してくれてありがとう』になりますように。愛されているから叱ってくれたと、いつか子どもが気付いてくれるように、精一杯の愛を込めて叱ることが人を育てることに繋がると改めて気付かせてもらいました。

何故か大人になっても母の声が聞こえる時がありますか？「お茶碗もって食べなさい」「くつを揃えなさい」・・・「周りの人のことを考えなさい」・・・『お母さん、愛してくれてありがとう♥』

<親と子どもの発達センター 学生ゼミ企画 “みんなで子育て” 講師講座 “子育て実践講座” >

✿ みんなで子育て ✿



11月 山下/鳥居ゼミ
「不思議な布で遊ぼう」



11月 鈴木(穂)ゼミ
「絵本で遊ぼう」



12月 野田ゼミ
「サンタとトナカイと一緒に
Merry Xmas！」



1月 山田ゼミ
「おねえさんといっしょ
一歌って踊って遊ぼう！」

✿ 子育て実践講座 ✿

10月



講師：山田 光治(短大副学長)
「子育て再考—家族危機と成長—」

12月

お母さん
 忙しさを追いかけないで
 時に振り回されないで
 赤ちゃんは直ぐに
 赤ちゃんでなくなるから
 だから今
 ここにいて
 あなたの可愛い赤ちゃんを
 たっぷり見つめて
 たっぷり抱いて
 赤ちゃんの心の始まりに
 おかあさんのやさしい
 微笑みの花が
 咲いていますように

講師：岸本 美紀(本学センター員)
「子どもの発達に大切な生活・遊び」

1月



講師：矢藤 誠慈郎(子ども教育学部長)
「親と子どもが安心して、初めての保育施設を選ぶためのワンポイント講座」

2月



講師：市川博文(歯科医師)
「歯を守る為に！良い歯並びのために！
予防編」

3月



講師：林 幸(元幼稚園園長)
「子育てにとって大切なこと・・・事例を通して」

✿ 学生の託児ボランティア ✿



1,2,3月開催の子育て実践講座では、学生と保育士が託児を行いました。保護者と離れる事ができるお子さんは、保護者が講座を受けている間、別室にて学生や保育士と、ままごとやトンネルごっこ、電車ごっこをして遊びました。

これからも、チチ託児を予定しております。少しお子さまと離れ、お話を聞いてみたいなという方は、ぜひ参加してくださいね。

平成 27 年度 4 月～9 月の親と子どもの発達センター開催日

4月	●自由開放日	13・15・16・20・22・23 日
	●子育て相談・発達相談	21 日
5月	●自由開放日	11・13・14・18・21・25・27・28 日
	●みんなで子育て	20 日
	●子育て相談・発達相談	12 日 ●ことばの相談 29 日
6月	●自由開放日	1・3・4・11・15・18・22・25・29 日
	●子育て実践講座	10 日
	●みんなで子育て	17 日・24 日
	●子育て相談・発達相談	23 日
7月	●自由開放日	2・6・9・16・22・23・27・29・30 日
	●みんなで子育て	1・8 日
	●子育て実践講座	15 日
	●子育て相談・発達相談	14 日 ●ことばの相談 24 日
8月	●自由開放日	26・27・31 日
	●みんなで子育て	22 日
	●子育て相談・発達相談	25 日
9月	●自由開放日	3・7・10・16・17・24・30 日
	●みんなで子育て	2 日 ●子育て相談・発達相談 8 日
	●子育て実践講座	9 日 ●ことばの相談 25 日
	●子育てセミナー	12 日

みなさまお健やかにお過ごですか。
大人にとっては当たり前の毎日が、子どもにとっては、“初めて”“知らない”ことの連続の毎日。子どもは心を動かし、“やってみたい”“なんでだろう”とワクワクドキドキします。時には、新しいことに不安になる姿もあるかもしれません。そんなとき「大丈夫。ちゃんと見てるよ。」そんな気持ちで見守ってあげることが、子どもにとっての一番のパワーになります。ぜひ、新しい一步を踏み出すわが子の、結果ではなく、過程を応援したいですね。

お父さん、お母さんのおひざが、一番の充電器かな・・・

親と子どもの発達センター 保育士

編集後記